

食事環境支援

こんにちは。Cブロックの宮本です。
今回は、Dさんの食事環境支援をご紹介させていただきます。



Dさんは、食事時間をとても大切にしている方です。
食事に熱中してしまうというのがありますが、机と椅子の構造上、姿勢が悪化しフォークで食べられていますがおかずの際は手掴みで食事をされている様子が見られていました。それに伴い、床や衣類への食べこぼしも目立っていました。口への詰め込みもあり、今はまだ年齢的にも大きな問題に繋がる可能性は低いですが、将来的には誤嚥等の危険性も考慮して食事環境改善に取り組んでいます。机は昇降デスクに椅子はキャスター付に変更して正しい姿勢を保てるように環境を整えました。
食器もワンプレートからドーム状のボウルを3つに分けました。
ドーム状の器にすることにより、フォークですくい易くなり、左手で食器を持ち、右手でフォークを持つ様子等も見られています。
フォークの持ち方も視覚化して提示することにより、職員がお声掛けさせていただくとDさんも提示を見ながら正しい持ち方に持ち直されています。
以前と比べて食べこぼしも減少している様子が見られています。
食べこぼしはエプロン着用により、床や衣類におちることはなくなり、衛生面の観点からも安心な環境を保っていけるようになりました。
今後もDさんが大切にされている食事がより健康的に安心して充実した時間になるような環境作りを行っていきたいと思います。



最後までご覧いただきありがとうございます。